



↑餌を食べるブリの殺到ぶりに驚く児童ら

←いけす内で泳ぐブリに餌を与える児童

見つけよう地域のすばらしさ

伊唐小学校ブリ養殖体験学習

4月18日、伊唐小学校（山川哲郎校長）は、総合的な学習の時間を使って、長島町の主産業であるブリ養殖の体験学習を行いました。

この学習は、町が推進するふるさと教育の一環で、児童らは「まず地域について知ること」の大事さを学ぶものです。この日は、3年から6年までの15人が伊唐港沖合いのブリの養殖いけすに船で移動。同校の保護者で養殖業を営む小山広喜さんからブリの生育などについて説明を受けました。

その後児童らは、元気に泳ぐブリに餌を与える体験なども行い、日ごろ経験しない学習に満足の様子でした。3年間養殖したブリを見た3年の杉山宗一郎くんは「ぼくと同級生だ」と大喜び。いけすで泳ぐ小魚が、今年の春、屋久島沖で捕れたブリの稚魚の「モジャコ」と説明を受けた4年の楠元瀬奈さんは「小さくてかわいい。遠くでこれを捕まえて持ってくるんだ」と感心していました。

まちの話題

長島での決意を新たに

転入学校職員宣誓式

町内の小・中学校に今春転入した学校職員の宣誓式が4月10日、長島町文化ホールでありました。参加した転入学校職員の45人は、本町の教育行政の基本方針を学び、決意を新たにしました。

この日式では、中橋藤七教育長が「子どもたち・学校・地域に早く慣れ、子どもたちの教育に全力を注いでください」とあいさつ。川床中学校に赴任した下堂園公平事務職員が「職務とその責任の特殊性を深く自覚し、誠実かつ公正に職務を執行します」と力強く宣誓しました。

転入者を代表して川床小学校の上野誠校長は「花いっぱい咲き誇る長島の赴任を楽しみにしてきました。子どもたちのために精一杯頑張ります」と述べました。

田中順一郎教育委員長を前に宣誓する下堂園事務職員↓



1